

こだわりのキソパッキング工法

ここが
ポイント

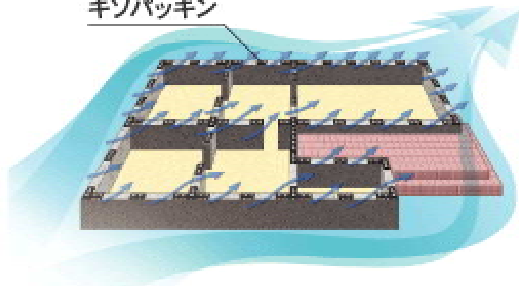
基礎コンクリートと木質土台をしっかりと絶縁する事が
住まいを長持ちさせる秘訣です。

キソパッキング工法は、コンクリートと木部の間に「キソパッキン」をはさみ空間を作る事で床下の換気を行い、同時に水分を多く含むコンクリートと乾燥状態を保ちたい木材とを絶縁します。

床下の湿気を排出して理想的な床下を作る事で、腐朽菌やシロアリを未然に防ぐキソパッキング工法は丈夫で長持ちする家作りに一役買っています。

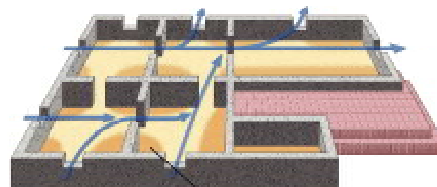
Jotoキソパッキング工法

キソパッキン



※全周通気でコーナー部分もスッキリ換気

従来の工法



湿気の溜み域

※コーナー部分は湿気がこもりやすい

木部の乾燥が保てないと
腐朽菌やシロアリが発生しやすい環境になります。

木造住宅に発生する腐朽菌はキノコの仲間

ジメジメした床下はシロアリの天国



唯一、阪神淡路大震災の震源地でも
被害件数ゼロの実績。

地震でもズレないキソパッキン

換気口は基礎の耐力の低下につながります



自信があるから、10年間 最高500万円。

長期安心の「しろあり補償」です。※事業所・住戸登録制

Jotoキソパッキング工法は
過去35年120万戸の実績です。

